

Vol.175



病院ホームページは
<http://www.mhi.co.jp/kobe/hospital/>

かけはし

理念
 すべては患者様と
 地域社会のために



発行責任者 病院長 佐々木 順子

科紹介シリーズ

歯科口腔外科

歯科口腔外科
 医師 高橋 淳子

歯科口腔外科では、虫歯や歯周病、入れ歯の作成・調整などの一般歯科治療のほかに、全身疾患がある患者さんへの対応や、顎関節症、口腔粘膜疾患などの口腔外科疾患、全身麻酔や局所麻酔で行う口腔外科手術を行っています。口腔外科手術には、親知らずなどの難しい抜歯や、顎の骨の中にできるのう胞（膿の袋）や腫瘍の摘出、舌や歯肉にできる腫瘍の切除、顎の骨折の手術などがあります。今回は親知らずの抜歯についてご紹介いたします。

【親知らずとは】

親知らずは第3大臼歯ともいわれ、前から数えて8番目の歯です。顎が小さかったりすると、親知らずが生えるスペースがなく、横に向いて生えたり、歯の一部しか生えなかったりすることがよくあります。このような場合、歯磨きがしにくく、親知らずが虫歯になったり、周りの歯肉が腫れたりします。長期間放置すると親知らずの隣の歯に影響が出ることもあります。こういった親知らずは抜歯が必要となります。

【抜歯について～当院では全身麻酔で実施できます～】

親知らずの中には顎の中深くに埋まっていたりして抜くのがすごく大変な場合もあります。そういった親知らずは全身麻酔で抜歯をすることをおすすめしています。親知らずの抜歯に対しては、抜くとき痛い、腫れる、しんどい、等のネガティブなイメージをもっておられる方が多いと思います。全身麻酔下で行う抜歯は処置時の痛みがなく負担も少ないです。また一度に複数本の抜歯を行うことができます。入院していただくので手術後は食べやすいお食事を提供でき、また抜歯後の出血や体調不良にも迅速に対応することができます。全身麻酔下で親知らずの抜歯を行う患者様の数は年々増加しています。当院では昨年は計32人の方（親知らず79本）に対し全身麻酔下で抜歯をさせていただきました。その他にも多数の手術を行っております。興味のある方はぜひ歯科口腔外科に相談にいらしてください。



お問い合わせ先 外線：078-672-2632 内線：22632

第15回生活習慣病教室 「糖尿病と運動について」

日時：平成30年2月28日（水）午後2時～3時
 会場：南館5階 デイルーム
 内容：講演（糖尿病と運動について）
 講師：松本副院長

申込み方法：
 外来患者さま：内科外来にて直接受付 又は
 内科外来直通電話（078-672-2619）
 平日10：30～17：30
 入院患者さま：病棟看護師にお申し出ください

新任医師ご紹介

やすはら ようこ
 安原 容子



専門分野：循環器内科一般
 趣味・特技：テニス、ボウリング、ダイビング
 抱負：誠意と情熱を込めて頑張ります。